

## 令和2年度第2回 地域包括ケアシステム連絡協議会運営委員会 報告書

日時：令和3年2月15日（月）16：30～18：00

場所：ソリッドスクエア西館1階会議室3

今回の連絡協議会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、企画会議としての位置づけの運営委員会のみ開催しました。

当日は、具体的な取組に向けた少人数での「ワーキンググループ」設置についての考え方や、次回の開催方法等について事務局から提案し、御意見をいただきました。



### 1 前回の連絡協議会について（資料1）

- ・前回は、特別編として「新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた今後の地域での活動について」をテーマに開催。健康安全研究所 岡部信彦所長の講演の後、グループディスカッションを行い、コロナ禍における地域での活動について考え方や意見を共有しました。

### 2 地ケア構築の取組（資料2）

- ・行政区より小さい地域での施策展開が重要であることから、市内を44の圏域に分け、地区カルテ共通フェイスシートを作成する等によって「地域の見える化」を進める。今後より多くの方に地域に関心を持っていただき、多様な主体が連携して新たな社会資源を生み出していけるよう、取組を進める。
- ・「意識づくり」、「仕組みづくり」、「地域づくり」の取組について報告。 等

委員意見

- ・テレワークや在宅勤務が進み、これまで地域に目を向けなかった人の視線が変わってきている。オンラインを活用した新しい取組と、旧来の取組との親和性が課題となっている。一緒にやっていく仕組みが重要で、社協がハブになっていくことが望ましいと考える。 等

### 3 ワーキンググループの設置について（資料3-1～3-3）

連絡協議会において、課題解決に向けたプロジェクトを生み出すことに繋がられるよう、参画団体による話し合いの場「ワーキンググループ」を設置することとし、事務局案を説明しました。

- ・令和2年11月20日（金）に開催した「プレワーキング」の内容や、これまで積極的に取組を進めていただいた関係企業・団体へのヒアリングをもとに、「ワーキンググループ」を設置する。
- ・検討の視点は、①実際のケアの現場における事例を材料として話し合いを進める、②行政の課題認識を示しながら、参画団体の活動を起点として、具体的に検討できる取組を自由闊達に意見交換する、③議論の進捗により、テーマを絞った別グループの立ち上げも検討する の3点。
- ・併せて、取組を連絡協議会全体に波及させるため、参画団体・企業が共通して取り組める事項も検討していく（例：取組を進めていただいている団体・企業を協力団体として認証する等）。

委員意見

- ・これまでの連絡協議会では「こんなことができる」と話が挙がるものの、マッチングできていないという課題感を持っていた。よい取組だと思うので、是非進めていただきたい。

- ・取組を共に進める企業・団体側の課題感をきちんと踏まえていくことが重要だ。
- ・コロナ禍では、子育て世帯、学生も困りごとを抱えているため、ケアの事例は高齢者だけでなく広く捉えていくべきだ。
- ・目標を定めすぎず、ブレインストーミングのような形のほうが、発展性が生まれやすい。
- ・サービスの持続可能性を考えると、CSRではなくCSVでないといけない。企業側が抱えている課題とポテンシャルに気付くことが重要。
- ・ワーキンググループの話題等に応じて、現在参加していない分野の団体・企業に対しても呼びかけてみるのも良いのではないかな。
- ・コーディネートのハードルが高いだろう。アイデアが出たときのまとめ役がいないと進みにくいのではないかな。

### 4 次回の進め方（資料4）

- ・次回連絡協議会（令和3年8月予定）は、令和元年度第2回連絡協議会の続きとして、「住まいと住まい方」をテーマとしたディスカッションを行うこととしたい。
- ・新型コロナウイルスの感染動向によっては、オンラインの開催等の新たな手法についても検討したい。委員意見

- ・オンラインで開催することで参加者が増える等のメリットもあるので、検討はしておくべき。また、今日の議論の内容を伝えるなど、つながりを保っていくことが大切だ。
- ・ワーキンググループの報告もぜひ全会員向けに行うべき。出たアイデアを提示し、「これなら自分たちでもできる」と思わせられるとよい。

### 5 活動報告（資料5）

川崎市薬剤師会 宇井委員から取組報告をいただきました。

- ・薬剤師会では「かかりつけ薬剤師」「かかりつけ薬局」の定着を目指して、情報発信や会員のスキルアップ、多様な主体との連携のほか、コロナ禍を踏まえ、オンライン・ICT化を進めている。

#### 第1回ワーキンググループを開催しました！

3月23日（火）、第1回ワーキンググループを開催しました。

「団体・企業として何ができるのか」を考えるためには、地域の課題を踏まえることが重要」等の意見を踏まえ、第2回会議では、参加者がほしいと思う統計情報等を行政から報告するとともに、顧客や社員等が抱える「生きづらさ」を持ち寄って意見交換することになりました。

#### ●参加団体・企業

NRE 新川崎弥生テラス、川崎市介護支援専門員連絡会、（社福）川崎市社会福祉協議会、（社福）川崎市聖風福祉会、川崎信用金庫、（株）セブンイレブン・ジャパン、セレサ川崎農業協同組合※、東京ガス（株）川崎支店、東京電力パワーグリッド（株）川崎支社、富士通（株）川崎支店、（公社）フードバンクかながわ、ヤマト運輸（株）川崎主管支店※

※の団体・企業は第1回欠席

川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会運営委員会報告書

発行：川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室 電話：044-200-0479